

《日本女性学研究会 2026 年 4 月例会》

『女性学年報』第 46 号合評会

2026 年 4 月 19 日(日)13:30~16:30

ZOOM で開催(定員 30 人、先着順)

下の 2 論文の執筆者からの報告の後、コメントおよび参加者による議論をします。

ベレック・クロエ:

中世から江戸時代までの武家女性と薙刀の関連をめぐる考察

コメンテーター: 鬼頭 孝佳

上野 優希:

女子校という教育環境

— 共学校環境における隠れたカリキュラムの検討に向けた予備的考察

コメンテーター: 水谷 千景

参加費: 1000 円 (日本女性学研究会会員は無料)

参加申し込み締切: 4 月 12 日(日) ※お支払い締切は 17 日(金)

申し込み先: <https://forms.gle/mKsEJyjwsBC1dKPe8>

入力し送信いただいた後、自動返信で参加費お支払いなどの情報をお送りします。申し込みと参加費のお支払いが確認できしだい、4 月 18 日までに url をお送りいたします。



↑ スマホをお持ちの方はこちらからも参加申し込みができます。

『女性学年報』は、1200 円(会員及び当日参加者価格 900 円。送料 250 円)で販売中ですが(「女性学年報編集委員会」arws2nd@gmail.com まで)、全文がインターネット上の J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム、<https://www.jstage.jst.go.jp/>)にも掲載されています。それぞれの論文は、直接そのタイトルを google などで検索しても、ダウンロードできます。

主催 日本女性学研究会 <http://www.jca.apc.org/wssj/>
問い合わせ先: wssj.voice@gmail.com

『女性学年報』第 46 号刊行！

『女性学年報』第 46 号が刊行されました。A4 版で 130 ページです。定価は 1,200 円ですが、日本女性学研究会会員のみなさまが購入なさる場合や例会の席では、900 円で販売いたします。

今号は、この刊行のお知らせを含めて、すべての文字を UD フォントにしています。

◆身体で交差する帝国の知とジェンダー

——京城帝国大学産婦人科教授・高楠榮による「体質研究」を事例に / 大室恵美

◆中世から江戸時代までの武家女性と薙刀の関連をめぐる考察

/ ベレック・クロエ

◆[研究ノート]女子校という教育環境

——共学校環境における隠れたカリキュラムの検討に向けた予備的考察 / 上野優希

◆中国における売買春／セックスワークに関する近年の研究動向

——その現在の日本への示唆 / 遠山日出也

◆[論文紹介]ロシア帝国領トルキスタンにおける植民地公娼制

—— Malika Zekhni, “Invisible Bodies: Civilising Mission, Sexuality, and Prostitution in fin de siècle Russian Turkestan”, *Cultural and Social History*, 19(2), 2022, pp.141-159.

/ 佐野元昭-昭代*

◆主流化するバックラッシュに分け入り、解きほぐすためのヒントとして

書評 山口智美・斉藤正美『宗教右派とフェミニズム』(青弓社、2023 年) / 牧野良成

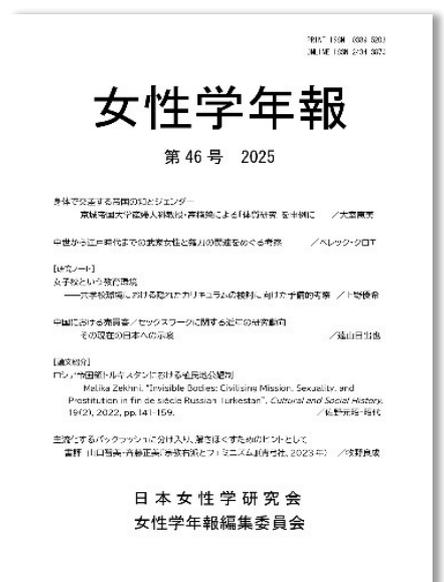
*これで一つのお名前です。

※J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム、<https://www.jstage.jst.go.jp/>)にも、上記以外のページ(「執筆者自己紹介」など)を含む全ページが掲載されます。46 号のアドレスは下です。

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/arws/46/0/_contents/-char/ja

直接「女性学年報」で検索したり、各論文などのタイトルで検索したりしても、上位に出てきます。

※もちろん右のような冊子体も発行していますので、購入ご希望の方は、arws2nd@gmail.com(女性学年報第 2 期編集委員会)までメールをお願いいたします。送料として実費をいただきます。



日本女性学研究会

『女性学年報』編集委員会

表紙はスカイ色です。